

【Excel VBA Standard】

新しい Excel VBA Standard では、API と OLE オートメーション、レジストリの操作、ファイルの操作のほか、Error オブジェクト、静的変数、動変数、ユーザー定義型変数も試験範囲に追加されました。詳細は下表でご確認ください。

大分類	小分類	Excel 2002 VBA Standard
1 プロシージャ	1 引数の意味	○
	2 引数の宣言	○
	3 値渡しと参照渡し	○
2 イベント	1 イベントとは	○
	2 ブックのイベント	○
	3 シートのイベント	○
3 ステートメント	1 Select Case	○
	2 Do...Loop	○
	3 For...Each ほか	○
4 関数	1 よく使う関数	△
5 エラーへの対処	1 On Error Goto	○
	2 On Error Resume Next	○
	3 Error オブジェクトほか	×
6 API と OLE オートメーション	1 OLE オートメーションの概念	×
	2 OLE オートメーションの使い方	×
	3 OLE オートメーションの注意点	×
	4 API の概念	×
	5 API の使い方	×
7 変数と配列	1 静的変数	×
	2 動的配列	×
	3 オブジェクト変数	○
	4 ユーザー定義型	×
8 レジストリの操作	1 レジストリの概念	×
	2 レジストリ操作の注意点	×
	3 レジストリに登録する	×
	4 レジストリを取得する	×
	5 レジストリを削除する	×
9 ファイルの操作	1 テキストファイルの操作	×
	2 ファイルのコピーと移動	×
	3 フォルダの操作	×
10 ユーザーフォームとメニューの操作	1 ユーザーフォームの操作	○
	2 コントロールの操作	○
	3 メニューとツールバーの操作	○

凡例： ○…2002 バージョンテキストに解説がある      △…2002 バージョンテキストに解説があるが、一部分のみ説明。  
 ×…2002 バージョンテキストに解説がない